

2026年7月期(第59期)

中間決算説明資料

株式会社浜木綿

証券コード : 7682



本資料は、当社が企業情報等の提供のために作成したものであり、当社が発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。  
本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。  
実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

- I. 決算の状況
  - II. 今期のハイライト
  - III. 今後の展望
- 



中国料理  
**浜木綿**  
はまけら

- I. 決算の状況
  - II. 今期のハイライト
  - III. 今後の展望
- 



中国料理  
**浜木綿**  
はまけう

# 決算の概況(2026/7期 中間決算 実績)

## 損益計算書

単位：百万円



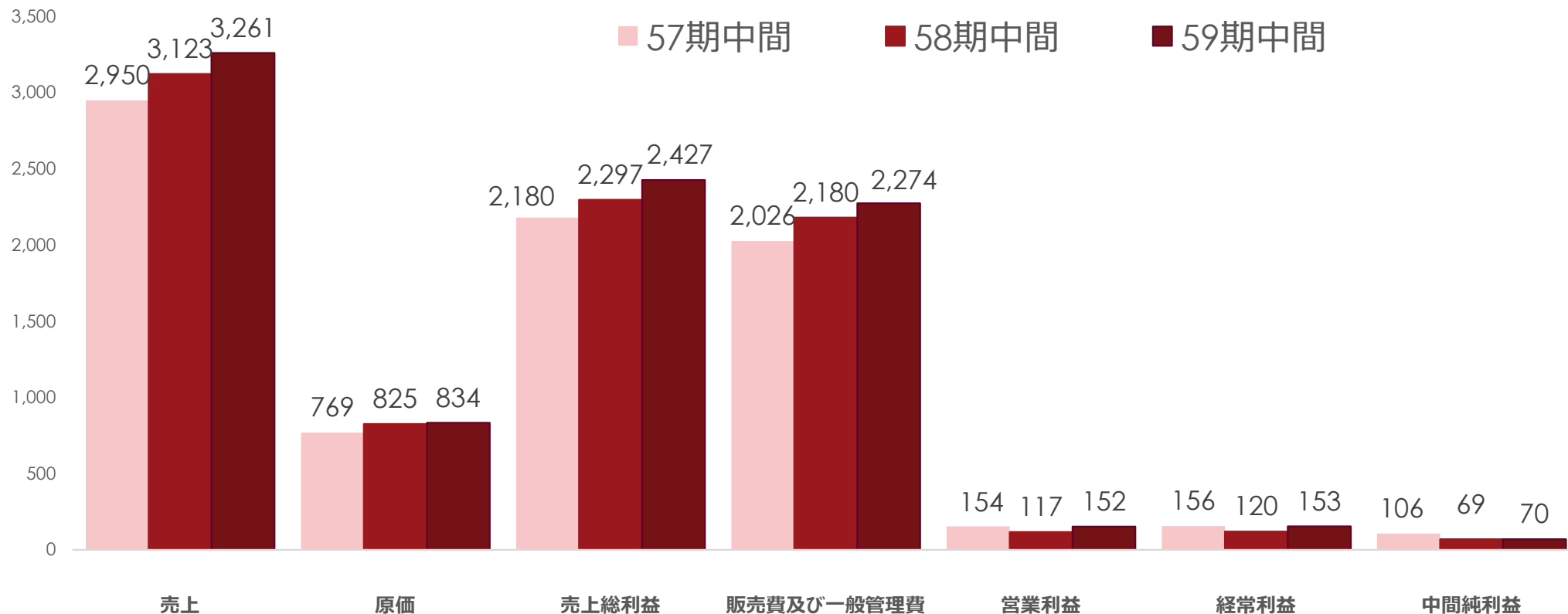
	2025年7月期 前中間期		2026年7月期 当中間期		前年同期比	
	実績	対売上比率%	実績	対売上比率%	増減値	増減率%
売上高	3,123	100.0	3,261	100.0	138	4.4
売上総利益	2,297	73.6	2,427	74.4	129	5.6
販売費及び一般管理費	2,180	69.8	2,274	69.7	94	4.3
営業利益	117	3.8	152	4.7	35	30.0
経常利益	120	3.9	153	4.7	33	27.5
中間純利益	69	2.2	70	2.2	0	1.3
1株当たり中間純利益(円)	32.37	—	32.71	—	—	—

- 新規出店及びリニューアル等により、客足は堅調に推移。また、段階的な価格改定により客単価が上昇。この結果、売上高は、前中間期に比べて138百万円増加。
- 販売費及び一般管理費が増加したが、営業の効率化等により前中間期に比べ営業利益及び経常利益ともに増益。

# 2026/7期 中間決算 ハイライト



単位：百万円

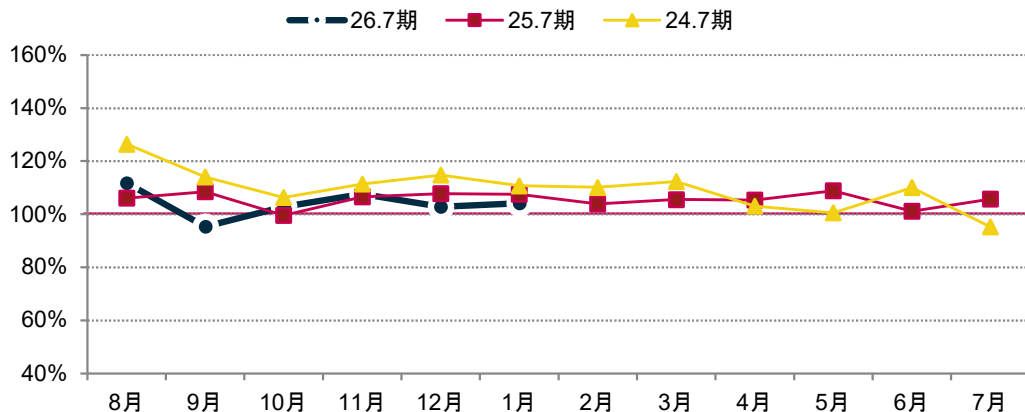


	売上 (前期比)	原価 (売上比)	売上総利益 (売上比)	販管費及び一般 管理費(売上比)	営業利益 (売上比)	経常利益 (売上比)	中間純利益 (売上比)
57期中間	114.1%	26.1%	73.9%	68.7%	5.2%	5.3%	3.6%
58期中間	105.9%	26.4%	73.6%	69.8%	3.8%	3.9%	2.2%
59期中間	104.4%	25.6%	74.4%	69.7%	4.7%	4.7%	2.2%

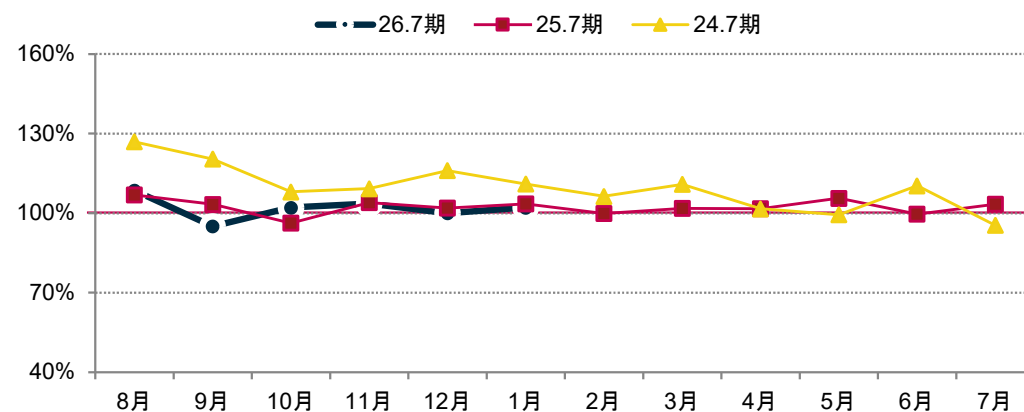
# 月次売上高ならびに客数の前年同月比の推移



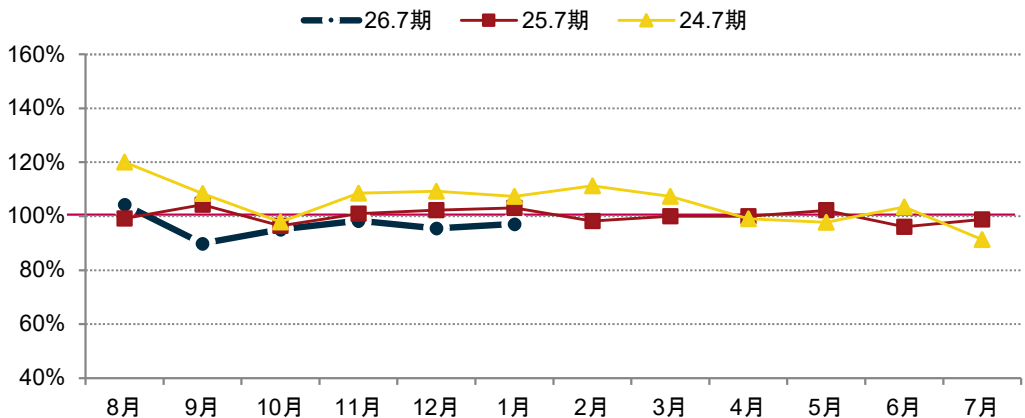
月次売上高前年同月比(全店)



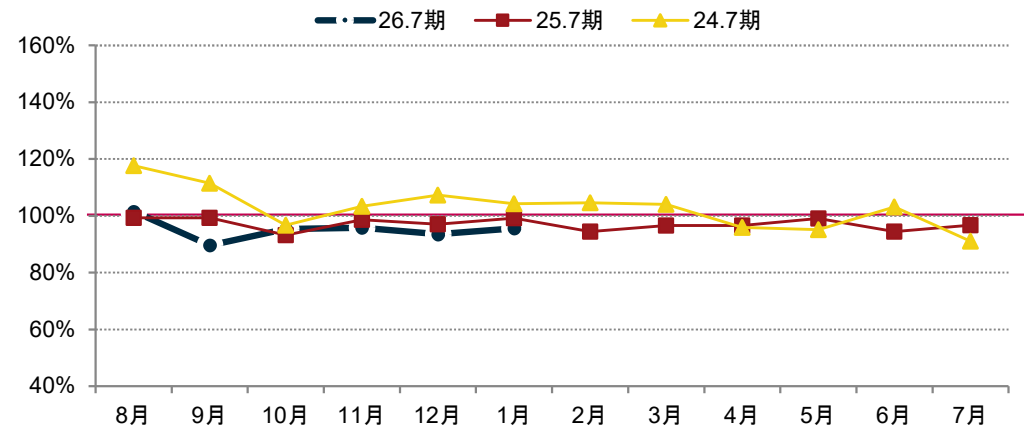
月次売上高前年同月比(既存店)



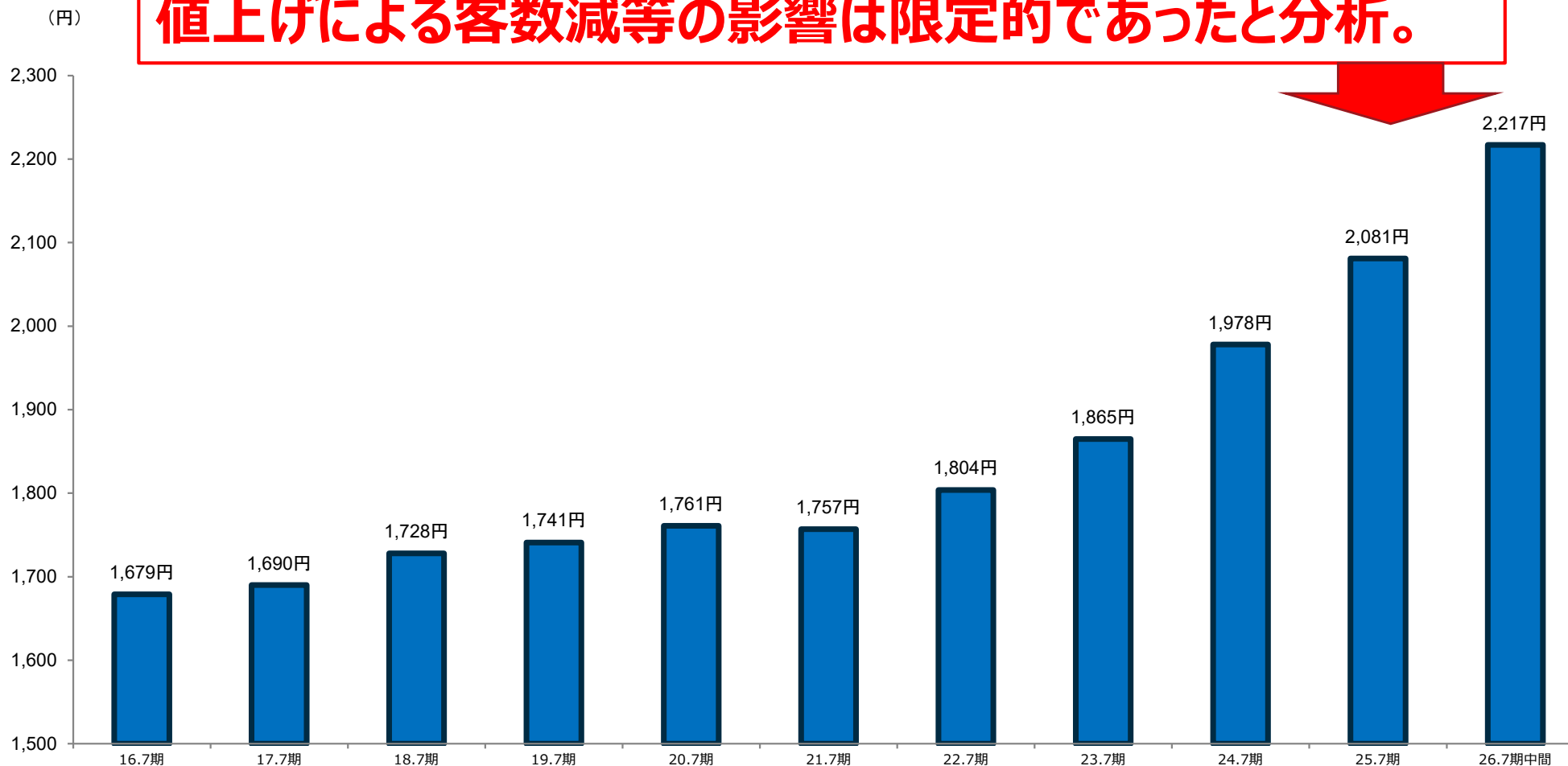
客数前年同月比(全店)



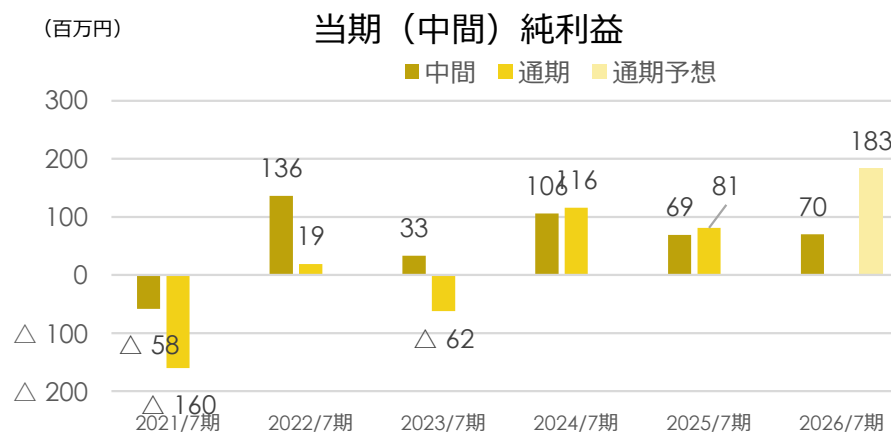
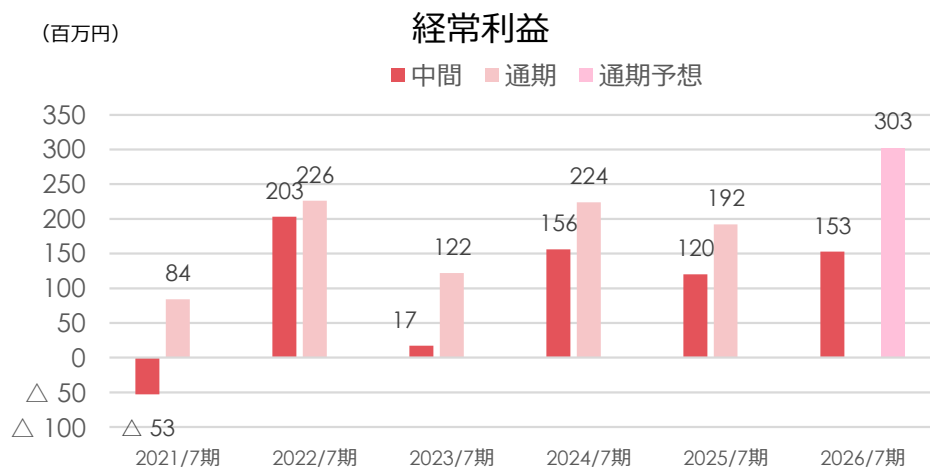
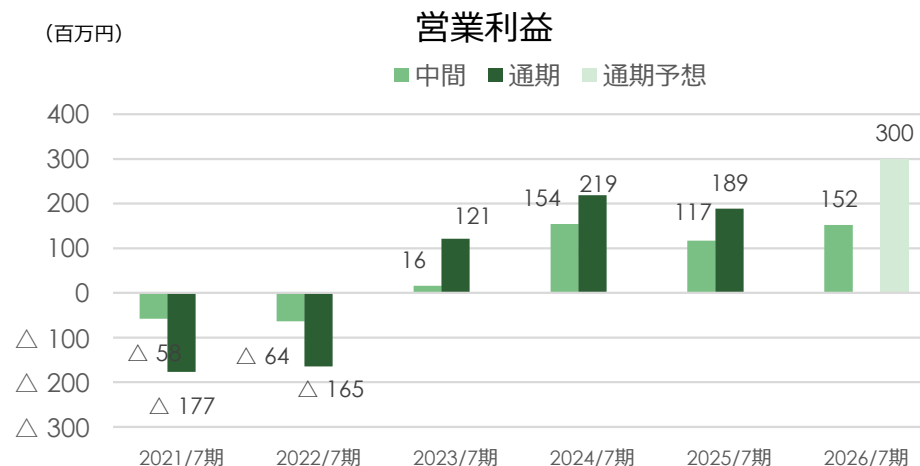
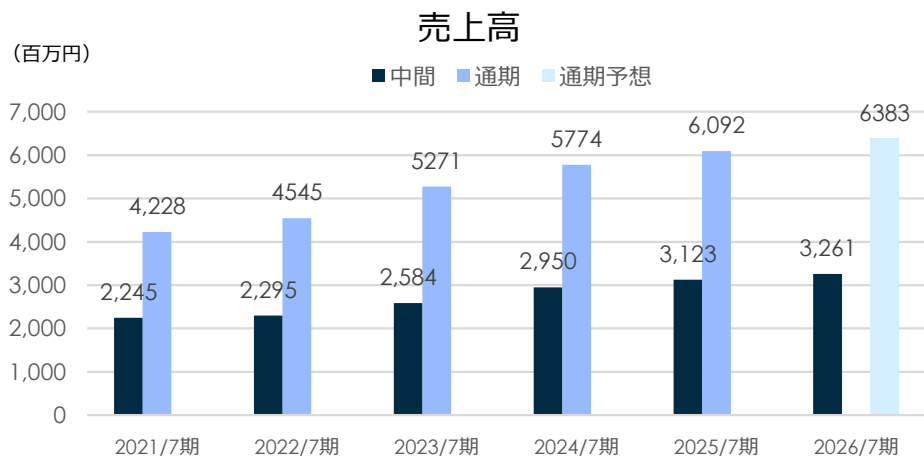
客数前年同月比(既存店)



**原材料費、人件費、水道光熱費等の高騰に対応するため  
段階的に値上げを実施したことで客単価がアップ。  
値上げによる客数減等の影響は限定的であったと分析。**



# 業績の状況



1株当たり当期(中間)純利益 (単位:円)

2021/7期	2022/7期	2023/7期	2024/7期	2025/7期	2026/7期中間
△74.76	9.05	△29.03	54.08	32.37	32.71

自己資本利益率(ROE) (単位:%)

2021/7期	2022/7期	2023/7期	2024/7期	2025/7期
△10.1	1.3	△4.3	7.9	5.2

2023年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
2020年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

# 決算の概況（2026/7期 中間決算 実績）

## 貸借対照表



単位：百万円

	2025年7月期		2026年7月期		前期比	
	前期		当中間期		増減値	増減率%
	実績	構成比%	実績	構成比%		
流動資産	1,804	38.2	1,713	35.9	△90	△5.0
固定資産	2,919	61.8	3,054	64.1	135	4.6
有形固定資産	2,251	47.7	2,342	49.2	91	4.0
無形固定資産	42	0.9	38	0.8	△4	△10.5
投資その他の資産	625	13.2	673	14.1	48	7.8
資産合計	4,723	100.0	4,767	100.0	44	0.9
流動負債	1,059	22.4	1,157	24.3	97	9.2
固定負債	2,057	43.6	1,941	40.7	△115	△5.6
負債合計	3,116	66.0	3,098	65.0	△17	△0.5
株主資本	1,606	34.0	1,667	35.0	61	3.7
評価・換算差額等	0	0.0	1	0.0	0	61.8
純資産合計	1,606	34.0	1,669	35.0	62	3.9
負債・純資産合計	4,723	100.0	4,767	100.0	44	0.9
自己資本比率(%)	34.0	—	35.0	—	—	—

# 決算の概況（2026/7期 中間決算 実績）

## キャッシュ・フロー計算書

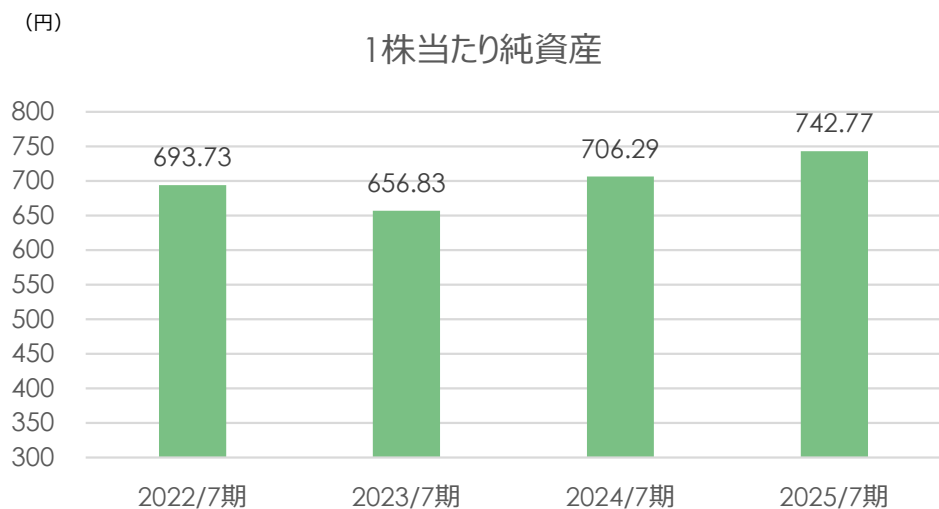
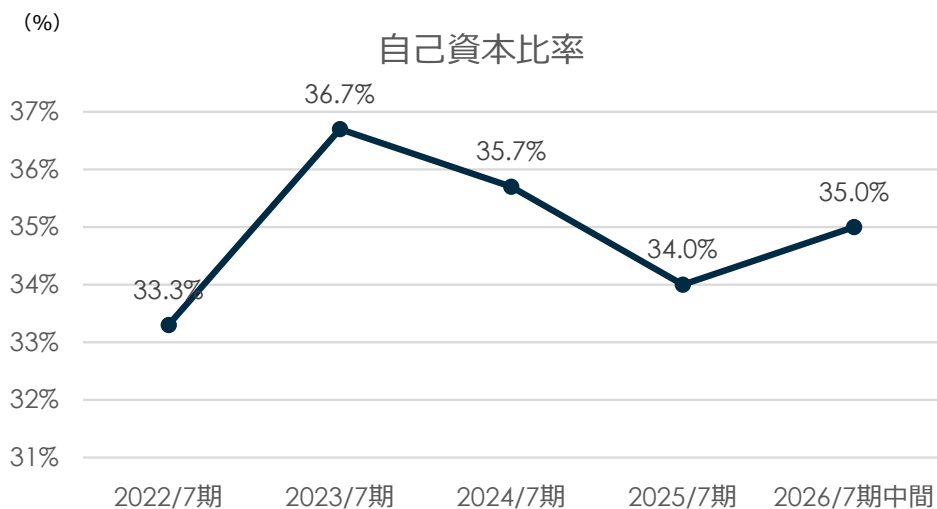
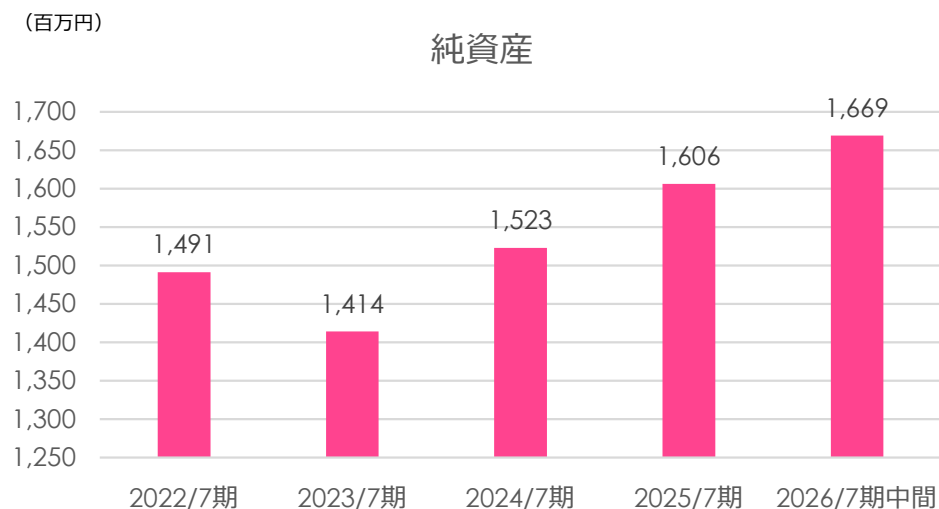


単位：百万円

	2025年7月期 前中間期	2026年7月期 当中間期	前年同期比 増減値
営業活動によるキャッシュ・フロー	243	286	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147	△227	△80
フリーキャッシュ・フロー	95	58	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	19	△180	△200
現金及び現金同等物の増減額	115	△121	△236
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,183	1,058	△125

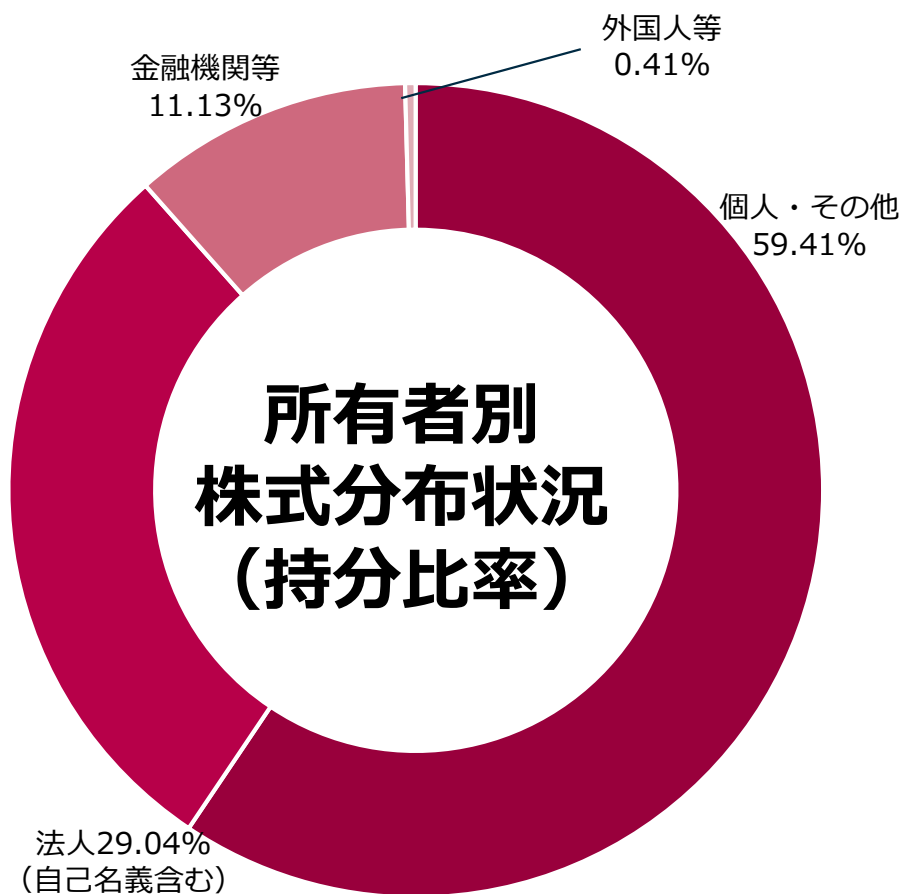
- ・営業活動によるC F：前年同期比42百万円増。減価償却費14百万円増、法人税等の支払額又は還付額15百万円支出増。
- ・投資活動によるC F：前年同期比80百万円減。有形固定資産の取得による支出82百万円増、その他5百万円減。
- ・財務活動によるC F：前年同期比200百万円減。配当金の支払額10百万円増。（前期は資金調達200百万円を実施）
- ・現金及び現金同等物の中間期末残高：前年同期比125百万円減の1,058百万円。

# 財務の状況



2023年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
2021年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

# 株式状況（2026年1月31日現在）



地域別分布状況			
	株主数 (名)	株式数 (株)	株式数比率 (%)
北海道	12	3,606	0.17
東北地方	11	8,619	0.40
関東地方	272	382,224	17.61
中部地方	2,462	1,639,920	75.57
近畿地方	437	115,599	5.33
中国地方	22	4,619	0.21
四国地方	9	4,006	0.18
九州地方	14	1,817	0.08
国外	8	9,800	0.45
合計	3,247	2,170,210	100.00

- I. 決算の状況
  - II. 今期のハイライト
  - III. 今後の展望
- 



中国料理  
**浜木綿**  
はまけら

建築費の高騰に対応し、出店費用の軽減を目的として、

「名東菜館」を2025年10月1日に、居ぬき物件を改装し新規オープン。

「愛知カンツリー倶楽部内レストラン」を2025年10月1日から  
業務委託契約で運営開始。



既存店舗の活性化を目的として、

**「浜木綿岐阜県庁前店」を2025年10月30日にリニューアルオープン。**

**「浜木綿国分寺北町店」を2025年11月6日にリニューアルオープン。**



2025年11月~12月

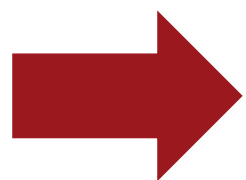
CBCチャリティ募金



『ごはんでつながる 子どもの笑顔』に参加

中華パンの売上1個につき10円の寄付（5,741個）

子ども食堂、児童養護施設、フードバンクなどへの支援

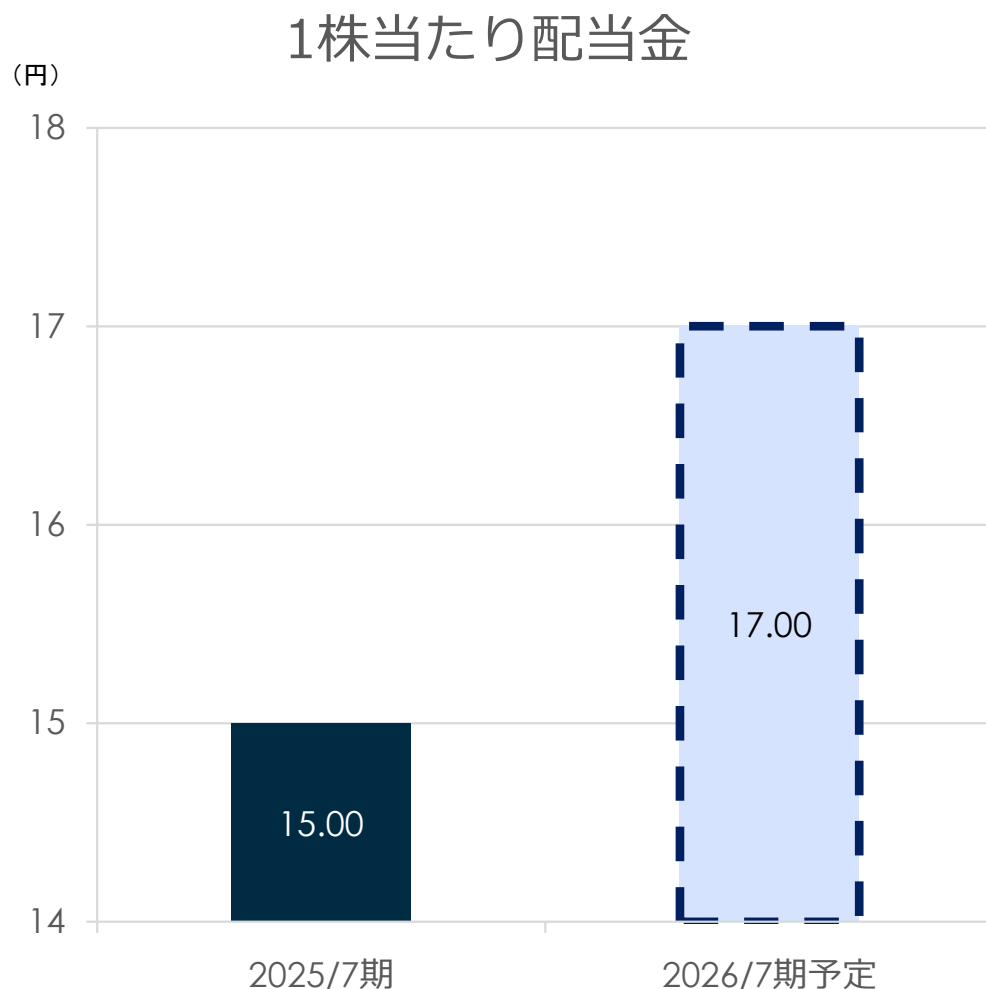


子どもへの食支援を通じて  
食育の推進と地域活動に対して貢献



## 配当

## 配当方針



経営環境の変化に備え、必要な内部留保を確保すると共に、株主の皆様への安定的かつ継続的な利益還元を経営の重要施策として業績を勘案しながら成果配分を行うことを基本方針としております。

### 2026/7期配当予想について

2026年7月期の配当につきましては、1株当たり17円を予定しています。

## 株主優待券(見本)

### 株主優待券



※見本は過去のデザインです。

## 株主優待

保有株式数	継続保有期間1年未満	継続保有期間1年以上※
100株以上200株未満	4,000円分の株主優待券	5,000円分の株主優待券
200株以上300株未満	8,000円分の株主優待券	10,000円分の株主優待券
300株以上500株未満	12,000円分の株主優待券	15,000円分の株主優待券
500株以上1,000株未満	20,000円分の株主優待券	25,000円分の株主優待券
1,000株以上	40,000円分の株主優待券	50,000円分の株主優待券

※ 継続保有期間1年以上とは、7月末日及び1月末日の株主名簿に同一株主番号で100株以上の保有を連続3回以上記載された株主様といたします。

- 対象となる株主様
  - ✓ 毎年7月末現在の株主名簿に記載された当社株式100株（1単元）以上を保有される株主様を対象とさせていただきます。
- 株主優待券のご利用条件
  - ① 株主優待券は、「浜木綿」「四季亭」「桃李蹊」「中国食堂 はまゆう」「名東菜館」全店でご飲食代金としてご利用いただけます。
  - ② 当社のお店のない地域にお住いの方、またはご希望の方には、株主優待券と引き換えに、代替品をお送りさせていただく予定です。なお、詳細につきましては、今後、決まり次第お知らせいたします。
  - ③ 株主優待券のご利用期間は、株主優待券到着後、翌年10月末までといたします。
  - ④ 株主優待券は、1枚1,000円となっており、お釣りは出ません。
  - ⑤ その他の割引券等との併用はできません。
- 贈呈の時期
  - ✓ 毎年10月に開催予定の当社定時株主総会終了後に送付する決議通知に同封することを予定しております。

- I. 決算の状況
  - II. 今期のハイライト
  - III. 今後の展望
- 



中国料理  
浜木綿  
はまけら

## チェーン化を始めた1990年代から着実に業績を拡大



# 2026年7月期の通期業績予想



単位：百万円

	2025年7月期 実績	2026年7月期 業績予想	減増率%
売上高	6,092	6,383	4.8
営業利益	189	300	58.9
経常利益	192	303	57.9
当期純利益	81	183	126.2
1株当たり当期純利益（円）	37.56	84.72	—



■ 供給能力を増強するとともに、浜木綿の出店と新しいマーケットへ新業態の出店を展開していくための展望

1. 新セントラルキッチンの設立（旧工場より移転）で供給能力を増強
2. 浜木綿業態の新規出店と本店の立て替えなど既存店舗の能力増強
3. 10万人以下の商圈（7万人～10万人）の開拓に向けて
  - ◇浜木綿の変革業態で10万人商圈の開拓をする。
4. その他の新業態
  - ◇「中国食堂はまゆう」ブランドで日常食マーケットを強化
  - ◇居抜き物件を利用するなど、出店費用を抑えた出店を研究して実施
  - ◇今後も新しいマーケットへ向けた新業態開発、出店方法の研究に注力

出店タイプ 客単価	主にショッピングセンターや テナント中心	住宅地を控えた 幹線道路・駅前	東京都心・繁華街 居酒屋系
1,000円前後	A社 B社 C社	A社 B社 E社 F社 G社 H社 	街中華等 I社 J社
2,000円前後	K社 L社 M社 N社 O社 P社	 Q社	台湾料理系 R社 S社 T社 U社 V社
3,000円以上	デパート階上等	地方都市のみに出店 W社 X社 Y社 Z社	複数都市に出店 AB社 CD社 E F社 個店中華料理店等



主力業態である浜木綿業態の集客力の向上を目指して、本店の立て替え（来期）など既存店の改装リニューアルを実施

## 【目的】

消費者のライフスタイルの多様な変化に対応するため、カウンター席の設置、エレベーターの設置、時代に合ったメニュー開発など、あらたな価値を付加していく



山手通本店、本社ビルの全面建て替え



小人数向けカウンター席の設置



健康志向、少人数の会食向けコース等時代のニーズに合ったメニューの開発



## これまでオープンした4店舗で見いだされた「運営課題の解決」を行う

メニュー、設備、人員配置などを見直して更なる効率化を目指す

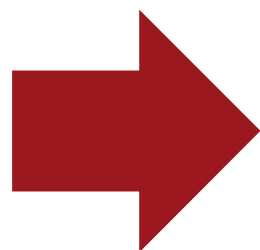


新店舗のオープンを進めて、日常食マーケットにおけるポジションを固める



## セントラルキッチンの能力強化により、 店舗の生産性の更なるアップを実現する

### 新しい工場製品の開発



店舗のメニューの魅力アップと  
効率化の改善を同時に実現する



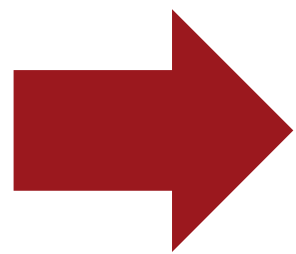
セントラルキッチン



中華パン

## 多様な人材の活躍推進

- ・ 海外での現地リクルートを実施
- ・ 海外人材の受け入れ態勢の強化
- ・ 海外の大学と提携して、  
インターンシップ学生の受け入れを実施し、  
将来の採用につなげる



多様な人材の確保を行って  
店舗の活性化を行う

外国籍社員向け研修



浜木綿の目指しているところ

四世代の「つどい」を  
日本中のどの町にも

※ 中国の幸福の概念『四世同堂』

浜木綿の目指しているところ

新時代の「町中華」を  
日本中のどの町にも

社名	株式会社浜木綿 英文表記：HAMAYUU CO.,LTD.
本社	愛知県名古屋市昭和区山手通三丁目13番地の1
代表者	代表取締役社長 林 永芳
設立	1968年2月
資本金	6億9,305万円
従業員 (2025年7月末日)	241名 (*394名) *臨時従業員の平均雇用人数
事業内容	外食事業

## ■ 経営理念

### 社是

昨日より今日  
今日より  
より良い明日へ

### ミッション

新しい食文化を創造し  
来店されたすべてのお客様に  
豊かでハッピーな  
食事時間を提供します

### 営業基本方針

もう一品よりもう一度

**私たちはすべての法令を遵守したうえで、  
以下の行動指針を「浜木綿行動準則」として定め実践します。**

**1**

### お客様に

ご来店いただくすべてのお客様に安心してお食事をお楽しみいただけるよう、安全性を第一に考え、質の高いお料理とサービスを提供します。

**2**

### 働く人たちに

従業員一人ひとりの個性を尊重するとともに、敬意をもって認め合い、安全で働きやすい職場環境を創り、真摯な姿勢で仕事に取り組みます。

**3**

### お取引先様に

法令・社内基準に則り、透明・公正・自由な競争のもとに適正な取引を行い、取引先と共に発展することを目指します。

**4**

### 社会のために

事業を通じて社会に貢献し、地域社会にとってなくてはならない存在となるよう目指すとともに環境保護に努めます。

**5**

### 株主様に

適切な企業情報の開示・提供を行い、経営の透明性・公正性を確保し、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。

**6**

### そして、正義のために

反社会的勢力との取引を含めた一切の関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。

## 【ご注意事項】

本資料は、当社が企業情報等の提供のために作成したものであり、当社が発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。